

令和5年度 専門学校デジタルアーツ東京

## 自己評価報告

令和6年3月31日

 菅原学園

専門学校 **デジタルアーツ** 東京

## 目 次

### 1. 学校の教育目標

### 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

- (1) . 教育理念・目標
- (2) . 学校運営
- (3) . 教育活動
- (4) . 学修成果
- (5) . 学生支援
- (6) . 教育環境
- (7) . 学生の受け入れ募集
- (8) . 財務
- (9) . 法令等の遵守

## 1. 学校の教育目標

本校は、学校教育法に基づく教育機関として、多様化、高度化し変遷する産業及び社会構造の変化に対応するデザインや音楽、演劇・情報技術（IT）・ビジネスの各分野に関する理論とその実践的応用の教授を行う。

かかる教育目的の実現により、国家、地域社会ならびに産業の発展に寄与する実務に即応できる人材と自由かつ創造性に富む人間の育成を使命とする。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

本校の各分野の目指す業界動向を掴み、カリキュラムや教育指導に迅速に取り入れ就職に結びつける。「学内コラボレーション」をより進め、クリエイター・アーティストとしての発想や創造性を豊かにしていくと共に企業との連携による実務体験やインターンシップを通じプロデビューや就職を達成していく。

このような専門教育と並行し人間力の向上として、「挨拶」から始まる社会人としてのルールやマナー・職場におけるコミュニケーション能力を指導する。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

### (1) . 教育理念・目標

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1

### ① 課題

全てのスケジュールをコロナ前に戻し、学校内外でのイベントの実施やセミナー等への参加を積極的に行った。学生達の活気も戻り、専門教育だけでなく学園の教育テーマの一つである「人間力」の向上をめざした教育活動にも力を入れていく。

### ② 今後の改善方策

「教育の質の向上」が求められる高等教育機関において、専門的な技術習得はもとより人間力としてのコミュニケーション能力向上につながる学生指導を学校全体で進めていくことを現在の目標としている。

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(2) . 学校運営

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
・ 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	④ 3 2 1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	④ 3 2 1
・ 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切におこなわれているか	④ 3 2 1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

〔 グループウェアを活用した業務の効率化の推進に取り組んでいる。電子決済システムや学内通達、スケジュール管理等に有効活用できている。業務の改善には全教職員のITスキル向上が欠かせない。 〕

② 今後の改善方策

〔 脱ハンコやペーパーレスをさらに進めるため、業務の再点検が必要。各部署で工夫し効率的に業務が進められるか検討していく。 〕

③ 特記事項

〔 オンラインを活用した教育活動の一つとして姉妹校のデジタルアーツ仙台との連携授業を行った。授業や企業セミナーを東京と仙台両校で受講する取り組みや両校の教員の交流にも役立てている。 〕

### (3) . 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

#### ① 課題

〔 A I を活用し D X 推進が叫ばれる時代においてめざす分野でのスキルは変化しており、業界と連携してカリキュラムを検討し授業計画を立てることが必要となっている。学生には業界の要望を理解させ、設定した目標の必要性を理解させることが重要となる。〕

#### ② 今後の改善方策

〔 各教科の目標達成度を測る成績評価がなされているか試験方法や内容について確認していく。シラバスの内容について学科長は各授業担当と常に情報交換を行い、めざす分野での即戦力として従事できるスキルを身につけることを主眼におき運営していく。〕

### ③ 特記事項

学生が業界研究を進める一助として特別講座や進路就職イベントを実施する他、授業内で業界関係者や卒業生の声を聴く機会を数多く設定。各カリキュラムの重要性を認識し、授業に取り組む姿勢やモチベーションの向上につなげている。

#### (4) . 学修成果

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④ 3 2 1

### ① 課題

通信制高校など高等学校の多様化により毎日の通学に不慣れな学生の増加や学校生活又は友人家族間の問題など様々な要因により心理的に不安定になる学生など出席不良に至る状況は多岐にわたっており、退学率の低減には個別に丁寧な対応が必要となっている。

### ② 今後の改善方策

学生個々との個人面談を定期的に行っているが、学校だけでは解決できない事例も多くなっており、長期欠席の繋がる兆候が見えた際には早期に保護者とも連携を取るようしていく。必要性に応じて担任だけでなく管理職も保護者へ連絡を入れ問題解決の糸口を見つけていく。

### ③ 特記事項

学びの継続を支援するための特別教室を令和6年度より設置予定。精神的な障がいによりクラス内で授業を受けられない学生や授業についていけない学生などを個別に対応するスペースをつくり、通常の授業への復帰をサポートしていく。

(5) . 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

コロナが5類移行したことにより、それまで多大な自粛を求められた在校生達に、活気のある楽しい専門学校生活に導く必要がある。学生のニーズを捉えながら各学科が運営することでドロップアウトの減少にも結び付けていきたい。

② 今後の改善方策

コロナ禍では、課外授業等を行うことを自粛していたが、モチベーションの向上と知見を深めるため積極的に学外へ出ていくことも検討する。外部イベントだけでなく演劇鑑賞、美術館博物館の見学等、学科の特性に合わせ計画していく。

③ 特記事項

令和5年度はデザインフェスタ(イラスト学科)、コミティア(マンガ・イラスト学科)、文学フリマ(ノベルス・シナリオ学科)ワンダーフェスティバル(フィギュア原型学科)等の多くの外部イベントにも参加することができた。

(6) . 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

① 課題

校舎の修繕に関して、各設備の耐用年数を念頭におき修繕の計画が必要となっている。数年のうちに必要となる工事もあり計画を立て進めている。またコロナ対策は落ち着きをみせているが、防災対策はしっかりと準備を進めていく。

② 今後の改善方策

校舎の修繕に合わせ教育環境の整備も計画的に進めている。物価上昇によるコスト上昇も見込まれる状況であり無駄のないよう努めていく。学校運営を円滑に進められるよう準備していきたい。

③ 特記事項

アニメやマンガ、フィギュア等の業界にてデジタル技術の習得が必須となりパソコン実習教室を利用した授業が増加。令和6年度はパソコン実習教室を増強する予定。

(7) . 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

高校生のオープンキャンパスへの来校や出願動向がコロナ禍からは大きく変化している。年々入学対象者の動きは速くなり、広報活動も迅速かつ臨機応変な対応が必要と考えられる。

② 今後の改善方策

高校生に直接アプローチできるガイダンスに加え、SNSを活用した広報活動も柱としていく。また国の方針により留学生の入国が増加していることから、優れた外国籍の学生の受け入れも推進していく。



③ 特記事項

〔 コロナ禍による留学生の減少は収まり入学者数はコロナ禍前に戻った。今後はより優秀な留学生を獲得できるかが課題となる。 〕

(8) . 財務

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

〔 物価向上による影響により教育に関わるコスト増が進んでいる。各学科や部署において必要経費の見直しが求められる。 〕

② 今後の改善方策

〔 適切な学納金を設定するとともに業務の効率化を進め入学者の負担増は抑えるよう取り組んでいく。 〕

③ 特記事項

〔 特になし。 〕

(9) . 法令等の遵守

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・ 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

〔 特になし。 〕

② 今後の改善方策

〔 特になし。 〕

③ 特記事項

〔 特になし。 〕